



日比谷総合設備株式会社

証券コード：1982

第**52**期

IR 通信

2016年4月1日から2017年3月31日まで

株主・投資家の皆様へ

時代にまっすぐ、技術にまじめです。



目次

ごあいさつ	1
事業報告	2
特集: 第6次中期経営計画	3-4
当期の主な完成物件	5-6
トピックス1: 当社保有技術による 未利用エネルギーの活用	7-8
トピックス2: 展示会への出席	9
トピックス3: HIBIYA E&S SEMINARの 取り組み	10
財務ハイライト	11-12
株式の状況	13
役員/会社概要	14

※ご注意

本誌には、将来の業績予想などに関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなくリスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本誌の予想数値とは異なる可能性があります。

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当期の日本経済は一部に復調の遅れがみられるものの、雇用・所得環境の改善などから緩やかな回復基調が続きました。一方、世界的には、米国経済は堅調に推移しておりますが、欧州経済は英国のEU離脱問題に端を発して不透明感が高まりつつあります。アジアにおいては景気が持ち直しつつありますが、地政学的リスクの浮上により、世界経済全体としては力強さに欠ける展開となりました。

建設業界においては、住宅建設は弱含んでいるものの、公共投資が底堅い動きとなっております。但し、将来的には、為替動向および労働需給の引き締めによる原材料価格や労務費の高騰懸念など、厳しい競争環境ともあいまって予断を許さない状況にあると認識しております。

このような環境の下、当社グループでは、2017年度より第6次中期経営計画をスタート致しました。第5次中期経営計画で一定の成果をあげたICTータルソリューション営業の推進および競争力のある原価構築を中心とする諸施策による企業体質変革を継続するとともに、社会経済動向とステークホルダーからの要請のバランスをとりつつ収益性を維持することを基本的な考え方と位置づけました。

今後とも当社グループの技術を活かした施工省力化と品質向上、あわせて、コンプライアンスの徹底、ICT化促進による業務効率化等による経営基盤の強化を図り、お客様のニーズにワンストップでお応えする「総合エンジニアリングサービス企業」として、長期的かつ安定的に事業の継続と発展を目指してまいります。

皆様方におかれましては、引き続き当社グループへのご理解とご支援を賜りますよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **西村 善治**

2017年3月期の業績等

第5次中期経営計画の最終年度にあたる当期は、LCトータルソリューション営業の深化により注力領域での実績が順調に推移するとともに、大型案件の完成等が寄与し前期に引き続き年度計画並びに中期経営計画目標を達成いたしました。また受注時利益管理の徹底、集約購買の強化および施工省力化の取り組み等を進めてまいりました結果、当期の業績は以下の通りとなりました。

■ 受注高	773億 65百万円	(前年同期比: 0.6%増)
■ 売上高	783億 87百万円	(前年同期比: 1.3%減)
■ 営業利益	56億 8百万円	(前年同期比: 20.0%増)
■ 親会社株主に 所属する当期純利益	52億 7百万円	(前年同期比: 12.2%増)

当期におけるトピックス

これまで神奈川県川崎市にありました当社の安全研修センターを東京都大田区に移転し、「羽田安全研修センター」を開設いたしました。従来の体験型施設を拡充し、データセンターなどに関する研修プログラムなどを追加、実物を用い「見る、触る、感じる」ことにより事故撲滅と安全意識向上を目指してまいります。

また、エネルギーおよびスマートビジネス等をテーマにした「HIBIYA E&S SEMINAR」を継続的に開催し、積極的に情報を発信しております。最近では、異業種交流の場としてIoT、ポスト2020年などをテーマとした勉強会を開催しております。

その他、全国各地で行われている展示会への出展、地域貢献活動への参加も積極的に行いました。「当社保有技術のアピール」および「地域社会への貢献」の場として捉え、今後も継続的に実施してまいります。

配当・株主還元施策

“より安定的な株主還元実施”の観点から、連結ベースでの純資産配当率(DOE)に着目した配当を実施しており、当期の期末配当金につきましては、5円の記念配当を含め1株につき25円といたしました。これにより既に実施しております中間配当の25円を含めた1株当たりの年間配当金は前期の40円に記念配当10円を加えた50円となります。

また、資本効率の向上並びに株主の皆様に対する利益還元の一環として、自己株式の取得・消却についても機動的に取り組んでおります。当期におきましては、株式数で46万2千2百株、取得価格で7億59百万円の自己株式を取得しております。

この度策定しました「第6次中期経営計画」に於いても、従来の利益配分に関する基本方針を承継し、次期配当金につきましては、第6次中期経営計画の利益目標を基に、当期の記念配当を含め50円から10円増配し1株につき中間・期末ともに30円、年間60円を予定しております。

また、自己株式の取得につきましても、既に公表のとおり、50万株・8億5千万円を上限とした取得を計画しております。

第5次中期経営計画 (2015年3月期～2017年3月期)

基本方針

お客様ニーズの多様化とコストへの要求に確実に応える

“企業体質変革”のスピードを上げる

振り返り

受注高、売上高、収益性ともに大幅向上

主要業績目標 (連結)

	2015年 3月期実績	2016年 3月期実績	2017年 3月期実績	中計3カ年各年度 目標値
受注高	731億	769億	773億	700億以上
売上高	713億	794億	783億	700億以上
営業利益	19億	46億	56億	25億以上
経常利益	30億	63億	69億	33億以上
親会社株主に 所属する 当期純利益	26億	46億	52億	20億以上

総合エンジニアリングサービス企業として より一層の発展を遂げるべく、 第6次中期経営計画をスタート

基本戦略

人財とICTへの
投資による
働き方改革

LCTータル
ソリューションの
高度化

注力領域

データセンタ／情報

オフィス

生産／物流

教育／医療福祉

ホテル／リゾート

第6次
中期経営計画
の考え方

収益基盤強化、市場環境改善、施工能力フルに発揮

第5次中期経営計画で
一定の成果をあげた
企業体質変革を継続



社会動向とステークホルダー
の要請にバランスをとった
収益性の維持

基本方針

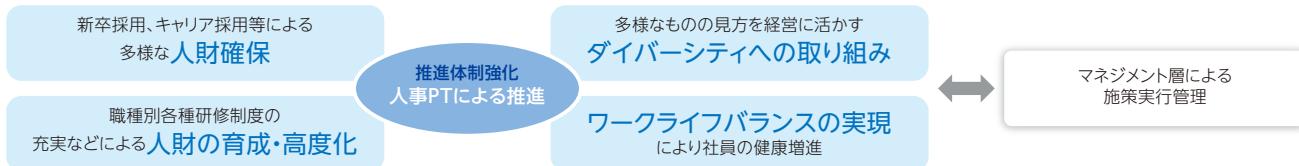
長期的かつ安定的な事業の
継続と発展を目指した
「企業体質変革の定着と強化」

計画～設計施工～オペレーショ
ンまでのライフサイクル全般に
付加価値の高い最適解を提供し、
お客様のニーズにワンストップ
で応える総合エンジニアリン
グサービス企業として、より一
層の発展を目指してまいります。

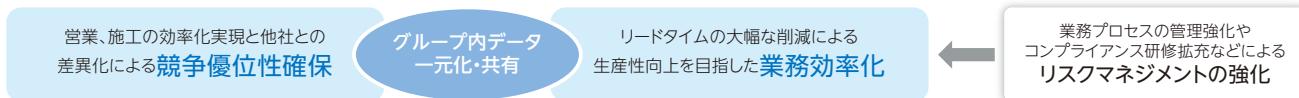
▶ 各年度の連結業績目標

	第5次中計 各年度目標	第6次中計 各年度目標	2018年3月期 計画
受注高	700億以上	750億以上	750億
売上高	700億以上	750億以上	750億
営業利益	25億以上	40億以上	40億
経常利益	33億以上	50億以上	50億
親会社株主に帰属する当期純利益	20億以上	30億以上	30億
ROE	—	5.0%以上 8.0%の継続的な 達成を目指す	5.0%

1 担い手を確保できる魅力ある企業グループづくりに向け、人財への積極的な投資を実行

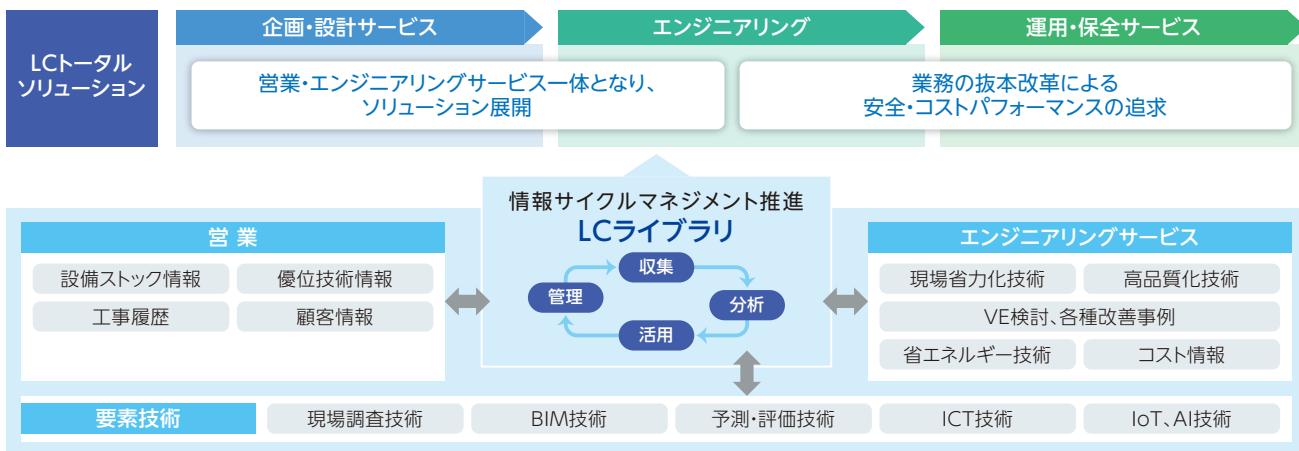


2 ICTを徹底活用した業務改革の実現とマネジメント強化

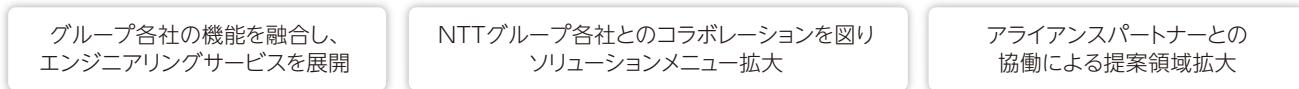


1 LCライブラリ※を核としたストックビジネスの充実・拡大

お客様が保有する設備ストックのライフサイクルを踏まえた中長期の提案により、将来にわたる受注の循環を創出



2 日比谷グループ連携、他社とのアライアンスにより、多様なサービスモデル構築



※当社保有の工事情報など各種知的財産をデータベース化し、全社部門横断的に共有・活用を可能としたシステム

住友不動産麻布十番ビル



- | | |
|---------|--------------|
| 1 東京都港区 | 4 41,261㎡ |
| 2 オフィス | 5 地上10階／PH2階 |
| 3 空調・衛生 | 6 2017年1月 |

京橋エドグラン



- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 東京都中央区 | 4 113,553㎡ |
| 2 複合(事務所、店舗、他)ビル | 5 地上32階／地下3階／塔屋2階 |
| 3 衛生 | 6 2016年10月 |

東京電機大学東京千住キャンパス5号館



- | | |
|----------|--------------|
| 1 東京都足立区 | 4 33,051㎡ |
| 2 学校 | 5 地上12階／地下1階 |
| 3 衛生 | 6 2017年1月 |

岡山大学(医病)中央診療棟



- | | |
|----------|-------------|
| 1 岡山県岡山市 | 4 13,234㎡ |
| 2 病院 | 5 地上7階／地下1階 |
| 3 空調・衛生 | 6 2016年10月 |

天然ガスコージェネレーションシステムを地方 ～ 未利用エネルギーの有効利用により施設の6割の電気をまかない

静岡県

人と産業・文化の交流拠点／水と緑の健康都市



「再生可能

保有温泉施設での課題

温泉から噴出する
天然ガス(メタンガス濃度86%)を

大気放散

メタンガスの温室効果は
CO₂の20倍以上

提案

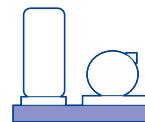
採用



新設

2 圧縮

メタンガス



コンプレッサー

温泉井戸(自噴)

メタンガスが
温泉水に付随して
汲み上げられる

1 分離



ガスセパレーター

温泉水

自治体が保有する温泉宿泊施設に導入 運営コスト削減、省CO₂を達成 ～

島田市

エネルギーの先進都市」を目指す

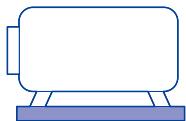
CO₂排出削減

当社保有技術・ノウハウ

天然ガスコージェネレーションシステムによる
発電設備導入と排熱利用

3

貯蔵



ガスホルダー

4

燃料化



コージェネレーション
装置停電対応型

川根温泉ホテル



宿泊施設
に供給
(100kw)

温泉給湯
に活用
(155kw)

電気

熱

電気と熱を発生させる

天然ガスコージェネレーションシステムは、ユインチホテル南城で平成27年度コージェネ大賞民生用部門「特別賞」を受賞しています。



新規顧客開拓・ アライアンス発掘等 ビジネスチャンス拡大に向け グループ一体となり 積極的に出展



展示会の様子

2016年6月 福岡国際センター

ビジネスショウ&エコフェア2016



3Dスキャナー

2016年10月 幕張メッセ

データセンター展(秋)

2016年7月 グランフロント大阪

Smart Energy Japan2016

2016年9月 東京ビッグサイト

フードファクトリー2016



スマートセーブ(負荷制御ユニット)

2016年11月 アクセスサッポロ

ビジネスEXPO2016

2016年12月 東京ビッグサイト

スマートビルディングEXPO

2016年10月 仙台国際センター

スマートコミュニティ+IoT World 東北

2017年2月 広島市中小企業会館

ビジネスフェア中四国2017



3次元モデル化

2016年10月 ポートメッセなごや

メッセナゴヤ2016

2017年2月 東京ビッグサイト

省エネルギーフェア2017

東京・京橋のショールーム「HIBIYA E&S PLAZA」では 継続的に異業種交流型セミナーを開催しています。

HIBIYA E&S SEMINARとは…

毎回広い意味での環境に関連したテーマを選定し、数社で講演するものです。セミナー終了後には受講者や講演者同士の名刺交換の時間を設けており、ネットワーキングやビジネスマッチングの場としても活用いただけます。



HIBIYA E&S PLAZA

第1回	2013年 10月	<p>「本物だけが生き残る、 ソーラー・エネルギー事業新時代」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■NTTファシリティーズ ■大和ハウス工業 	第8回	2015年 6月	<p>「2020年に向けた地域活性化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■佐賀県 ■愛媛県 ■香川県 ■NTTファシリティーズ ■OSUヘルスサポートアカデミー
第2回	2013年 12月	<p>「時代のキーワード『スマート』～ 省エネICT技術はさらに進化する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■NTTファシリティーズ ■日本メルセン 	第9回	2015年 9月	<p>「太陽熱・地中熱・廃熱の有効利用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■住友化学 ■鋳研工業 ■ダイカポリマー
第3回	2014年 2月	<p>「オフィスの健康配慮が エクセレントな会社を作る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日本政策投資銀行 ■ファインテック ■健康ライフコンパス ■CMエンジニアリング 	第10回	2015年 12月	<p>「スマート、コンパクト、 レジリエントな地域づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ヴェリア・ラボラトリーズ ■三菱UFJリソース
第4回	2014年 4月	<p>「生産性が上がりコストが下がる オフィス・工場のカシコイ省エネ術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ヴェリア・ラボラトリーズ ■東京サラヤ 	第11回	2016年 3月	<p>「そのオフィス、 働く人の心身を守れていますか?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■岡村製作所 ■清和ビジネス ■ジャパンEAPシステムズ
第5回	2014年 7月	<p>「植物工場が広げる、 健康・美容・食文化の新たな可能性」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■資生堂 ■東京生薬協会 	第12回*	2016年 6月	<p>「未利用エネルギー積極活用で推進する 新時代の街づくり・施設づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大阪市立大学中尾正喜教授 ■国際航業 ■サイエンス ■日比谷総合設備
第6回	2014年 10月	<p>「建物のライフサイクル価値を 向上させるBIM技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■NTTファシリティーズ ■シェルパ・パワープレス 	第13回*	2016年 12月	<p>「2020年! 世界に見せたい、 環境技術・情報通信技術・ヘルスケア技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■川崎市産業振興財団 ■CMエンジニアリング ■住友重機械エンジニアロメント ■東光高岳 ■日新システムズ ■日立システムズ ■ヘッドウォーターズ ■三菱電機エンジニアリング ■三矢研究所 ■製船海事 ■日比谷総合設備
第7回	2015年 2月	<p>「ビル、工場、病院で、 エネマネ事業をほとんど利用する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ヴェリア・ラボラトリーズ ■ヤンマーエネルギーシステム 			

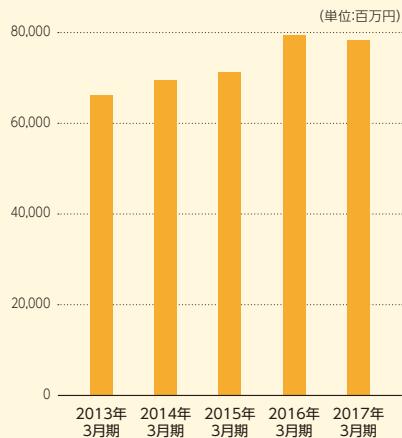
※今期開催 ■ 講演企業

▶ 連結

(単位:百万円)

	第48期 2013年3月期	第49期 2014年3月期	第50期 2015年3月期	第51期 2016年3月期	第52期 2017年3月期
売上高	66,322	69,466	71,329	79,401	78,387
売上原価	57,579	60,741	62,652	67,107	64,342
売上総利益	8,743	8,725	8,676	12,294	14,045
販売費及び一般管理費	6,726	6,882	6,693	7,618	8,436
営業利益	2,016	1,842	1,983	4,676	5,608
経常利益	2,835	2,886	3,059	6,344	6,976
親会社株主に帰属する当期純利益	1,806	2,215	2,630	4,641	5,207
純資産額	55,166	57,068	58,939	59,947	63,719
総資産額	79,427	83,531	84,725	91,900	93,661
1株当たり純資産額(円)	1,744.66	1,828.81	1,912.49	1,966.69	2,117.40
1株当たり当期純利益(円)	58.15	72.78	87.62	156.88	178.49
自己資本比率(%)	67.3	66.2	67.2	62.8	65.4
現金及び現金同等物期末残高	11,183	7,622	4,863	5,945	11,345
従業員数(人)	890	876	874	866	868

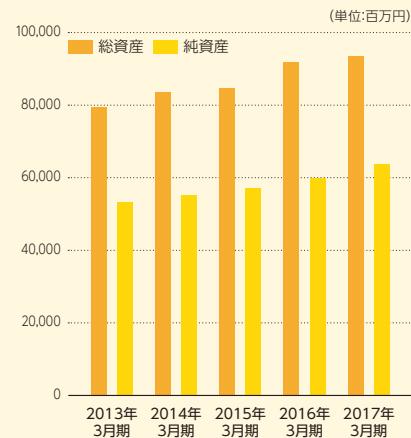
売上高



経常利益&親会社株主に帰属する当期純利益



総資産&純資産



Point

1

収支の概要

- 売上高は**783億87百万円** 前期比1.3%の減少
- 売上原価は**643億42百万円** 前期比4.1%の減少
- 営業利益は**56億8百万円** 前期比 20.0%の増加
- 経常利益は**69億76百万円** 前期比 10.0%の増加
- 親会社株主に帰属する当期純利益は**52億7百万円**
前期比 12.2%の増加

日比谷総合設備グループ

日比谷総合設備株式会社
設備工事事業

連結子会社
日比谷通商株式会社
設備機器販売事業

連結子会社
ニッケイ株式会社
設備機器製造事業

連結子会社
HITエンジニアリング株式会社
生産設備の設計・施工・保守管理事業

持分法適用関連会社
日本メックス株式会社
建物の保守・維持管理事業、建築工事事業、設備工事事業

Point

2

資産、負債及び純資産の概要

- 総資産は、**936億61百万円** 前期比17億61百万円の増加
前期比、受取手形・完成工事未収入金が23億26百万円減少したものの、有価証券が6億38百万円、現金及び預金が53億99百万円の増加。
- 負債は、**299億42百万円** 前期比20億11百万円の減少
前期比、支払手形・工事未払金等が24億13百万円の減少。
- 純資産は、**637億19百万円**
前期比、37億72百万円の増加。

▶ 個別 (ご参考)

(単位:百万円)

	第48期 2013年3月期	第49期 2014年3月期	第50期 2015年3月期	第51期 2016年3月期	第52期 2017年3月期
売上高	56,877	60,794	62,572	70,185	68,449
営業利益	1,485	1,654	1,531	4,051	4,858
経常利益	1,925	2,019	1,923	4,510	5,221
当期純利益	1,164	1,323	1,801	3,167	3,915
純資産額	35,187	36,106	36,790	36,659	38,623
総資産額	54,108	58,591	59,542	64,242	63,449

株式の状況 (2017年3月31日現在)

- ▶ 発行する株式の総数 96,500,000株
- ▶ 発行済株式の総数 31,000,309株
- ▶ 株主数 2,685名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,499	4.83
エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	1,371	4.42
日比谷総合設備取引先持株会	1,296	4.18
住友不動産株式会社	979	3.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)	900	2.90
株式会社三井住友銀行	853	2.75
一般社団法人電気通信共済会	838	2.70
第一生命保険株式会社	818	2.63
株式会社りそな銀行	601	1.94
共立建設株式会社	594	1.91

(注) 1. 当社は、自己株式1,881千株(発行済株式総数の6.07%)を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

2. 上記の所有株式数の業務に係る株式数は、次のとおりであります。

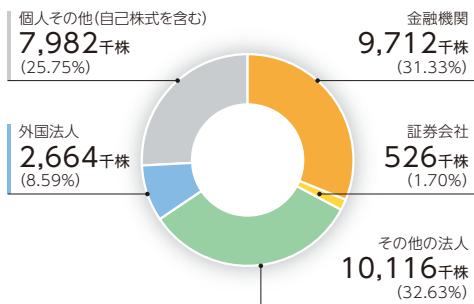
■ 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口):1,473千株

■ 日本マスタートラスト信託銀行株式会社

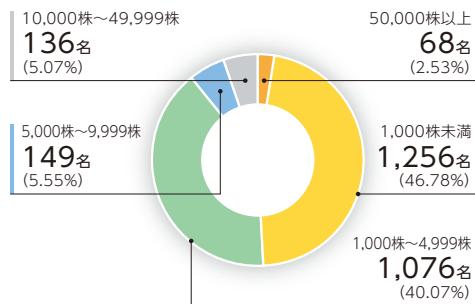
(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口):900千株

(株式会社百十四銀行から委託された信託財産であり、議決権行使に関する指図者は株式会社百十四銀行であります。)

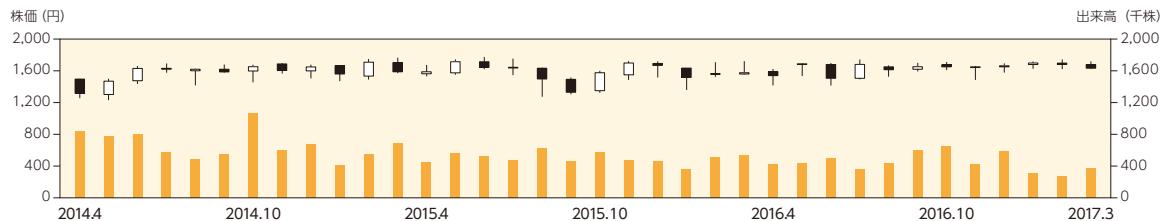
所有者別株式分布状況



所有株式数別分布状況



株価および出来高の推移



取締役及び監査役

代表取締役社長	社長執行役員	西村 善治
代表取締役副社長	副社長執行役員	豊田 茂
取締役	常務執行役員	蒲池 哲也
取締役	常務執行役員	下田 敬介
取締役	常務執行役員	賣川 博史
取締役	上席執行役員	山内 祐治
取締役		楠美 憲章
取締役		渥美 博夫
取締役		橋本 誠一
常勤監査役		桑原 亨二
監査役		辰村 裕司
監査役		伊藤 晶
監査役		中村 昌光

執行役員

常務執行役員	古閑 一誠
上席執行役員	池知 宏志
上席執行役員	峯田 喜次郎
上席執行役員	一ノ瀬 英次
上席執行役員	諏訪 光悦
上席執行役員	長澤 義直
上席執行役員	遠藤 護
執行役員	小山 実
執行役員	富江 覚司
執行役員	小原 安正
執行役員	田家 光規
執行役員	永井 智雄
執行役員	享保 裕彦
執行役員	荒井 泰徳
執行役員	一木 亮之介

- (注) 1. 取締役楠美 憲章、渥美 博夫、橋本 誠一はいずれも会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役桑原 亨二、辰村 裕司、伊藤 晶はいずれも会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 取締役楠美 憲章、渥美 博夫、橋本 誠一及び監査役桑原 亨二、伊藤 晶につきましては、東京証券取引所に対し独立役員として届け出ております。

商 号：日比谷総合設備株式会社
Hibiya Engineering, Ltd.

設立年月日：1966年3月9日

資本金：57億53百万円

株 式：東京証券取引所市場第一部

従業員数：個別 716名 連結 868名

事業内容：(1) 空気調整装置工事
(2) 電気設備工事並びに通信設備工事
(3) 給排水その他衛生設備工事
(4) 建築並びに土木の設計及び工事
(5) 機械器具設置工事
(6) 不動産の売買、仲介、賃貸及び管理
(7) 建築設備、環境衛生関係機器の製造及び販売
(8) 建築物、建築設備の保守管理、警備及び清掃業務
(9) 建物セキュリティシステムの開発、設計、施工、販売及び保守
(10) 労働者派遣事業
(11) 前各号に関するコンサルティング業務
(12) 前各号に付帯する事業

建設業許可：国土交通大臣許可(特-27)第3931号
管工事業、機械器具設置工事業、電気工事業、
電気通信工事業、水道施設工事業、建築工事業、
土木工事業、ほ装工事業、とび・土工工事業、
消防施設工事業

一級建築士事務所：東京都知事登録第28260号

事業所：

本 社 東京都港区芝浦四丁目2番8号

東京本店 東京都港区芝浦三丁目4番1号

支 店 北海道、東北、横浜、東海、北陸、関西、中国、四国、九州

営業所 函館、秋田、新潟、長野、茨城、北関東、千葉、静岡、神戸、岡山、熊本、鹿児島、沖縄

研究施設 千葉県野田市

ホームページ
株主・投資家情報のご紹介

弊社の最新・詳細情報は
ウェブサイトよりご覧いただけます。



株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページアドレス

<http://www.hibiya-eng.co.jp/>

株主名簿管理人/
特別口座の
口座管理機関/
同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

(郵便物送付先)
お問合せ先

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

各種手続のご連絡

▶ 未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
お支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。

▶ 単元未満株式(100株未満)をご所有の株主様

下記の制度をご利用いただけます。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

- ・ 買い取り制度：単元未満株式を当社に売却する。
- ・ 買い増し制度：単元(100株)にするため不足する株式を当社より購入する。

▶ 住所変更、配当金受取方法変更について

< 証券会社に口座をお持ちの株主様 >
ご利用の証券会社へお問い合わせください。

< 特別口座(特別口座へ記録されている)の株主様 >

口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたします。

https://safe.tr.mufg.jp/cgi-bin/daikou/youshi_01.cgi